

7月23日投票県知事選挙

# 物価高騰と県民生活悪化から 県民の命とくらし守る 4つのチェンジ

## 福祉日本一の群馬県に

私の決意

物価高騰と長引くコロナ禍が県民の命と暮らしを脅かしています。そんな時に現知事はデジタル化や大型開発に前のめり。今、県政に求められているのは、「温泉でリトリート」ではなく、日々の暮らしを支える福祉の心ではないでしょうか。

私は、教育や保育、医療や介護に人と予算を増やし、労働条件を改善するために全力を尽くします。子育て世代を経済的に支えるために、関東で一番低い群馬の最低賃金を引き上げます。若者世代と高齢者の分断ではなく、全ての人を大切にします。

誰もが安心して生きられる、福祉日本一の群馬県をつくるために頑張ります。



いしだ さよと  
**石田清人**

- 1957年勢多郡新里村（現桐生市新里町）生まれ66歳
- 県立桐生工業高校卒、日本大学文理学部卒
- 玉村町、旧赤城村、旧大胡町、前橋市で34年間小中学校教諭
- 元全群馬教職員組合執行委員長

- 現在：群馬県労働組合会議議長、学校給食費の無料化をめざす会代表委員
- 渋川市行幸田在住、家族：妻
- 趣味・特技：ジョギング、自転車、スキーなどスポーツ全般。中学校から大学まで陸上競技に打ち込む

## 県政変えて！期待します

とても楽しく気軽に  
なんでも話してくれる先生。  
生徒一人ひとりを大事にしてくれる石田先生  
が知事になれば、県民一人ひとりに向き合って  
解決してくれると信じています。  
今、結婚や出産、子育てに不安しかないです。  
石田先生なら、安心して子育てできる群馬県を  
つくってくれると思います。  
坪内湖月（教え子）

中学生時代、石田先生  
の手書きの学級通信を毎日読むのが  
楽しみでした。今、3人の子育てをしながら、  
保育士として働いています。とても重労働。  
時間的にも金銭的にも全く余裕がありません。  
安心して保育や子育てできるよう、ぜひ保育士の  
給料を上げてほしいです。  
西川美樹（教え子）

1年間だけ同じ学校  
でした。石田先生は困っている若い職員、  
中堅の職員、辛い思いをしている生徒たちに  
自分から寄り添って、時には叱咤激励しながら、  
常に近くで働いてくれていました。  
私は教頭の立場でしたが、何回も助けられました。  
知事選はぜひ頑張ってほしいです。  
村島剣次（元校長）

憲法をくらしに生かす県政の会（略称：憲法を生かす会）は、1991年に結成。会の目的は、憲法をくらしの中に生かし、平和と民主主義、自然と環境を守ること、くらしの向上、福祉や教育の充実など、県民本位の明るい県政をみんなで実現することです。

憲法をくらしに生かす県政の会

2023年6月号外 ●憲法を生かす会の政策と見解をお知らせします。●ご意見・ご感想をお寄せください。  
前橋市本町3-9-10 労働センター内 Tel 027-221-2093 Fax 027-221-8509

